

令和6年度 中央区立泰明幼稚園 外部評価報告書

評価委員：秋元有子委員長、林俊行副委員長、渡邊政博委員、和地泰志委員

報告書作成者：渡邊政博委員

評価時期 令和7年3月

### 1 重点目標の評価

- (1) 重点目標1について（好奇心や探究心を引き出し、思考力の芽生えを育む）
- (2) 重点目標2について（他者との関わりや自然とのふれあいを通し、豊かな情操を育む）
- (3) 重点目標3について（のびのびと体を動かし、たくましい心と体を育む）

○国語の基礎は幼稚園から始まっており、言葉の意味の認知やコミュニケーションにとって重要な役割を担っている。少人数の課題として「言われなくても分かってもらえる」「言葉の刺激が少ない」と考え、指導方法を見直している部分は評価できる。集団ならではの経験を丁寧に見とれることを利点として引き続き取り組むとともに、家庭にできることを伝えて連携して行ってほしい。親育ても重要な幼稚園の役割である。

○地域との関わりや地域を知ることを幼稚園から継続的に行っているところはとても豊かな体験であり、伝統的な事も知ることができる機会として続けてほしい。

○昨年度の反省から、運動遊びについて、他校種と交流活動をするときに取り入れる方法を実施されたことは評価できる。来年度3学年になっても少人数であることは変わらないため、さらなる工夫をして、子どもたちの体力向上につながる活動を期待する。

### 2 今後の改善に向けた意見

○預かり保育が始まり、利用率が高い中で、教育活動の発信方法や保護者の保育体験など、方法を試行錯誤してできることを進めてきたことが評価されている。来年度は預かり保育の時間が延長されるため、さらなる教育活動の発信方法や家庭との連携の工夫をお願いしたい。

○未就園児の会は2年前から行い、成果が出ている活動であるため、来年度も引き続き行ってほしい。また、PTAや在園児保護者、修了児保護者の話が聞ける機会は未就園児保護者にとっては貴重な機会となる。是非、実現できるように連携をお願いしたい。

○来年度3学年になることはとても喜ばしいことである。今年度までの教育活動や大切にしてきたことを3学年になっても継続できるよう、これから実施方法など検討して行ってほしい。

### 3 その他の意見

○少人数であるために課題であると思われることよりも、利点が多いことを併設小学校の先生が感じられていることが素晴らしい。また、幼小の連携も継続して行っていることで、児童・幼児・教職員の中に根付いてきていることで、より互恵性のある活動につながっていると考える。校園長であることも連携が図りやすい一つである。泰明の良さとして引き継いで行ってほしい。

○外部への発信ツールとして、ネット上の情報で選択時代となっているため、HPを魅力あるものにしてほしい。教員しかできない部分と外部に委託する部分と棲み分けて、今の時代に相応しいものとなるよう工夫され魅力的なHPとなることを期待する。